

おせち料理と正月に関する意識調査

おせち料理は「家族だんらんにつながる」約8割

約7割が「正月の家事負担を軽減し、家族でゆったり過ごせる習慣」として評価

全国農業協同組合中央会
(J A 全 中)

全国農業協同組合中央会（JA全中）は、20～60歳代の男女1,000人を対象に、「おせち料理と正月に関する意識調査」を実施しました（サンプル数=1,000人、調査方法=インターネット、期間：平成27年10月9日～10月12日）。

○お正月におせち料理を食べる人は約8割

お正月におせち料理を食べているかを聞いてみると、「必ず食べる」40%、「だいたい食べる」29%、「たまに食べる」14%で、約8割の人がおせち料理を食べている結果となりました。おせち料理を食べる理由は、「お正月に食べる習慣になっているから」が69%でした。

○おせち料理が世界に誇れる点は「現在でも広く食べられている伝統料理」

「見た目がきれい、美しい」

おせち料理について、素晴らしいと思う点や世界に誇れることについては、「現在でも広く食べられている伝統料理である」が42%、「見た目がきれい、美しい」が41%、「縁起の良いいわれがある」が36%と続き、日本古来の食文化として重んじられている様子が見えます。

○おせち料理は「家族だんらんにつながる」約8割

おせち料理を家族一緒に食べることで家族だんらんにつながると思うかと聞いたところ、「そう思う」38%、「ややそう思う」38%で、約8割の人がつながると考えていました。

○おせち料理は「手作り&購入」派が約6割で、2年前と同程度

今後も作り続けたい人は約8割

おせち料理を手作りしているかについては、「全て手作り」が6%、「ほとんど手作り、一部購入」27%、「ほとんど購入、一部手作り」30%で、「手作り&購入」派が約6割を占めました。この結果は2年前に実施した調査結果と大きな変化はなく、無理のない範囲で手作りをして、わが家の味を楽しんでいる家庭が依然として多いことが分かります。また、おせち料理を自分で手作りしている人の中で、今後も作り続けたいと回答した人は約8割を占めました。

○「正月の家事負担を軽減し、家族でゆったり過ごせる習慣」として、約7割が評価

おせち料理は、お正月の家事負担が軽減し家族でゆったり過ごせる習慣として良いと思うか、という質問に対しては、「そう思う」24%、「ややそう思う」42%で、約7割が評価する結果となりました。

おせち料理は、日々忙しい女性を、せめてお正月くらいは休めるように年末から料理を作って家事から解放しようという習慣が継承されているそうです。現在でも約8割が食べている世界に誇れる日本の伝統料理。これからも無理のない範囲で手作りして、様々な願いが込められた縁起物のおせち料理を囲みながら、正月三が日は家族とゆっくり過ごしたいですね。

※原稿などにご活用いただく際には、「JA全中調べ」と付記していただきますようお願いいたします。

— 本資料に関するお問い合わせ先 —

全国農業協同組合中央会（JA全中） 広報部 広報企画課
担当：古林・井上 TEL：03-6665-6010 / FAX：03-3217-5072



■ 調査概要 ■

【調査名】：おせち料理と正月に関する意識調査

【調査方法】：WEB モニターによるアンケート

【対象】：20～60 歳代男女

【実施期間】：平成 27 年 10 月 9 日～10 月 12 日

【サンプル数】：1,000 人

	20代	30代	40代	50代	60代
女性	100人	100人	100人	100人	100人
男性	100人	100人	100人	100人	100人

男性	20代	30代	40代	50代	60代
北海道・東北	10	11	10	13	12
関東	38	37	37	33	33
中部	16	17	17	17	17
近畿	18	17	18	16	18
中国・四国・九州・沖縄	18	18	18	21	20
計	100	100	100	100	100

女性	20代	30代	40代	50代	60代
北海道・東北	11	11	11	13	12
関東	36	36	35	31	32
中部	16	16	17	17	17
近畿	18	18	18	17	18
中国・四国・九州・沖縄	19	19	19	22	21
計	100	100	100	100	100

※地方別のサンプル数は、総務省による人口推計（平成 23 年 10 月 1 日現在）結果の構成比に合わせた。

※P.3 以降のリポートについて

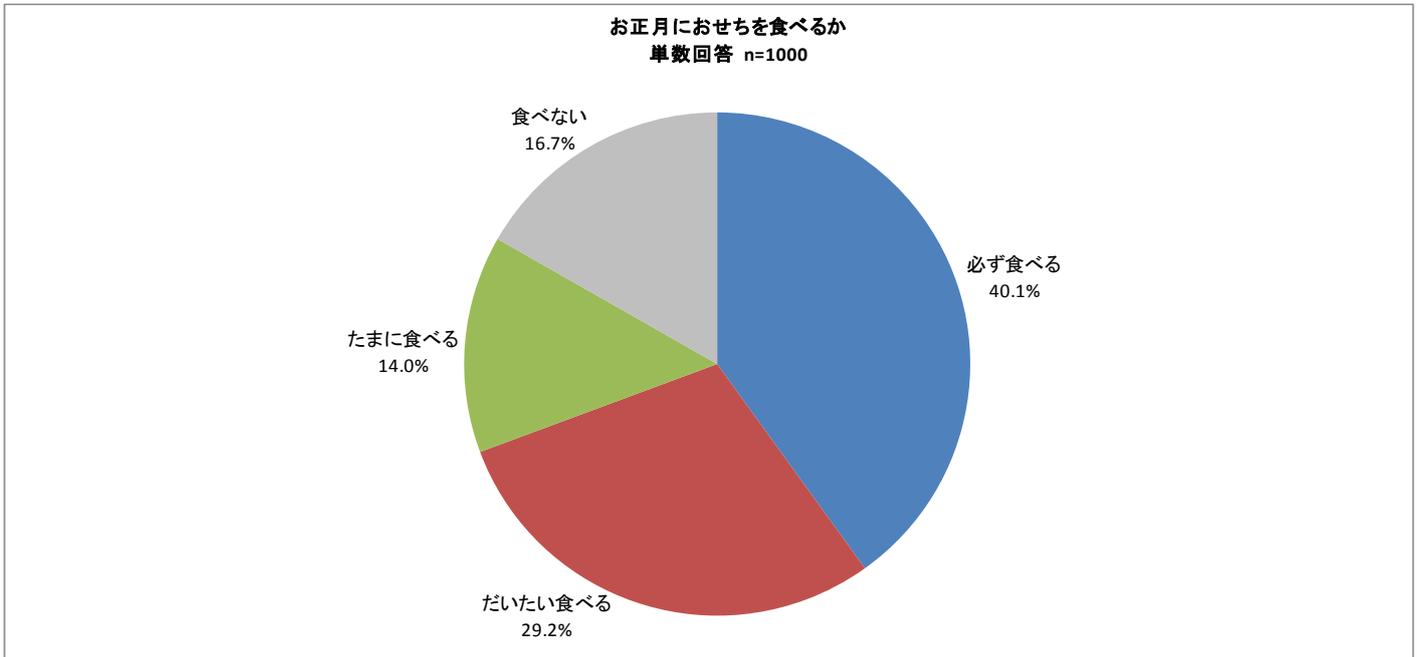
結果の％は小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位まで表示している。このため、全体の計と内訳の合計、内訳同士の合計が一致しないことがある。

なお、図表中の「n」とは number of case の略で、比率算出の基数を示している。

【調査会社】株式会社マーケティングジャンクション

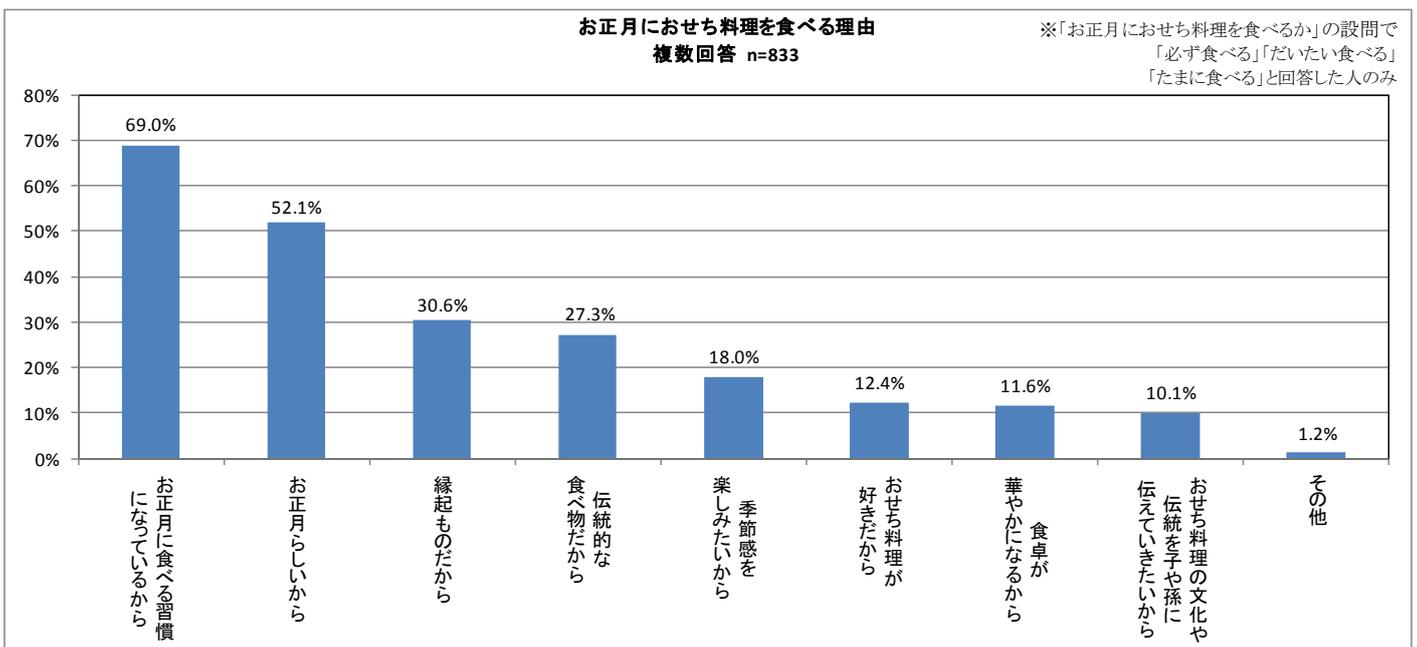
お正月におせち料理を食べる人は約 8 割

お正月におせち料理を食べているか聞いてみると、「必ず食べる」40.1%、「だいたい食べる」29.2%で、毎年お正月に食べている人は約 7 割となり、「たまに食べる」14.0%と合わせると約 8 割の人がおせち料理を食べている結果となりました。



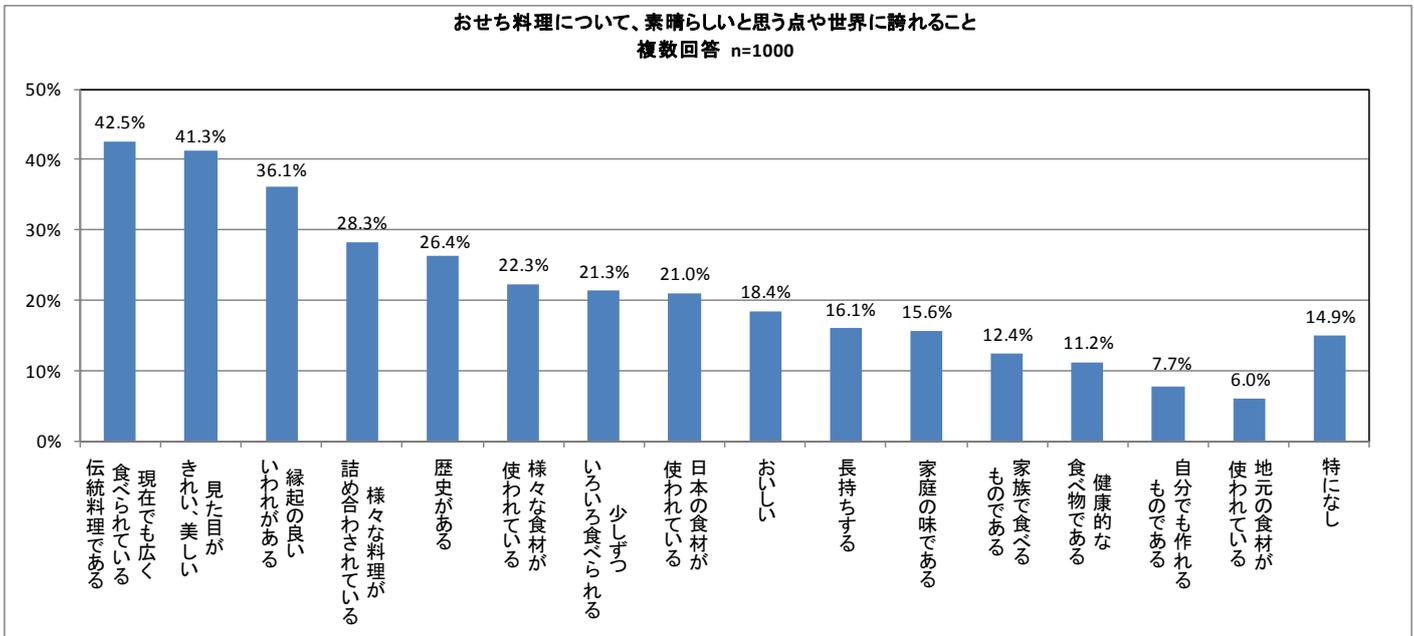
お正月におせち料理を食べる理由は「習慣になっているから」

お正月におせち料理を食べている人にその理由を聞いてみると、「お正月に食べる習慣になっているから」が最も多く 69.0%。次いで「お正月らしいから」52.1%と、お正月の風物詩を楽しんでいる様子が見えます。



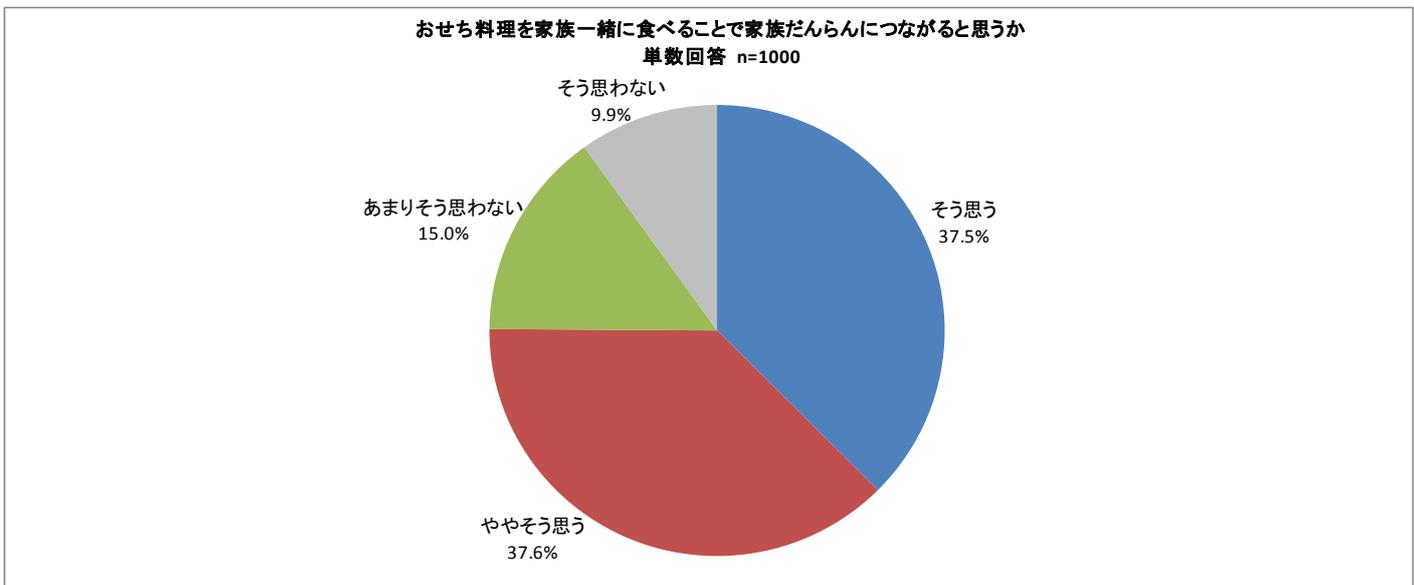
おせち料理が世界に誇れる点は「現在でも広く食べられている伝統料理」「見た目がきれい、美しい」

おせち料理について、素晴らしいと思う点や世界に誇れることを選んでもらった結果、「現在でも広く食べられている伝統料理である」が42.5%「見た目がきれい、美しい」が41.3%とそれぞれ4割以上が回答。次いで「縁起の良いいわれがある」が36.1%となりました。



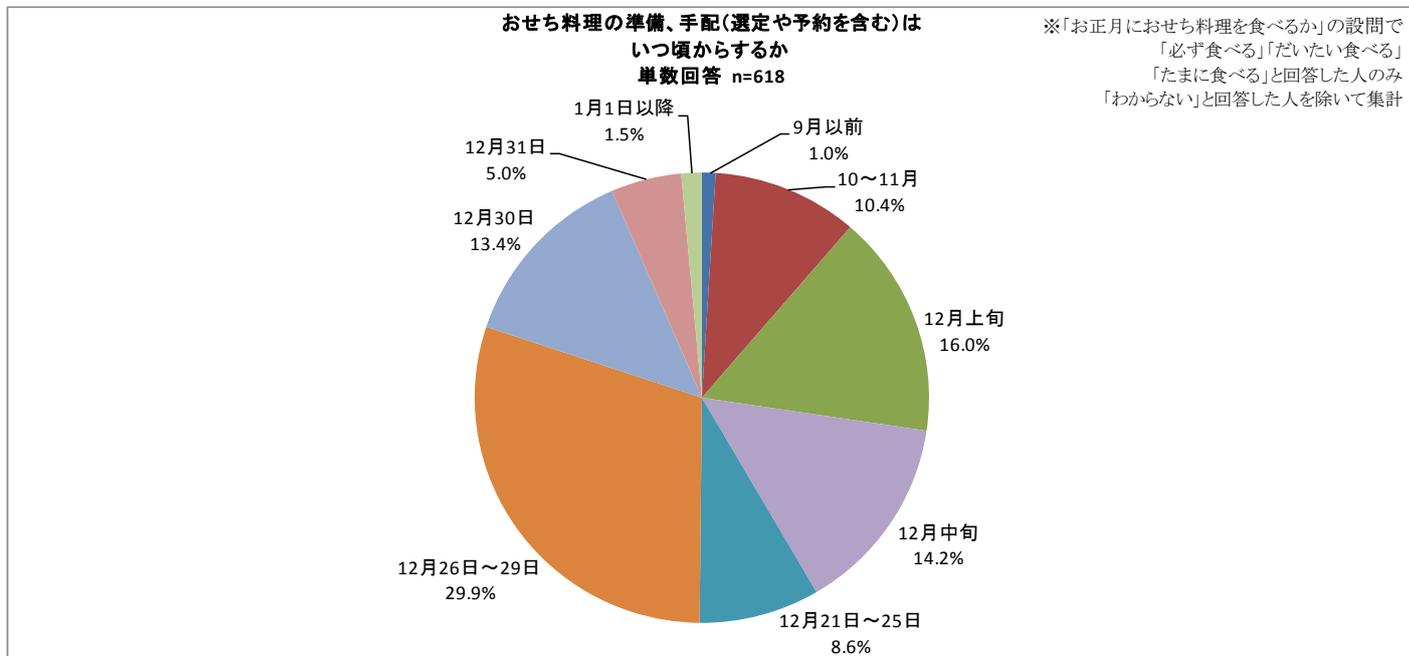
約8割が、おせち料理は家族だんらんにつながる

おせち料理を家族一緒に食べることで家族だんらんにつながると思うかと聞いたところ、「そう思う」37.5%、「ややそう思う」37.6%で、合わせて約8割の人が家族だんらんにつながると考えていると回答しました。



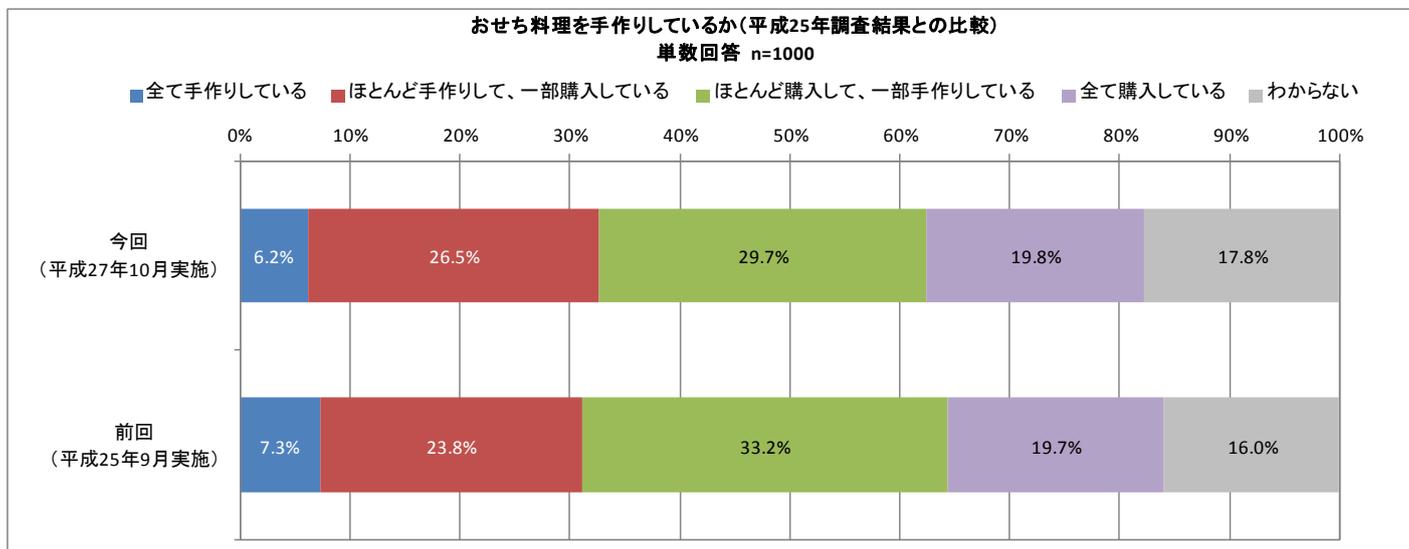
おせち料理の準備は 12月26日から年内にする人が約5割

おせち料理を準備する時期については、「12月26日～29日」と回答した人が29.9%と最も多く、クリスマスが終わった26日から年内に手配する人は48.3%で、半数程度の結果となりました。12月上旬からクリスマスまでとの回答は約4割で、12月以前に始める人も約1割を占めました。



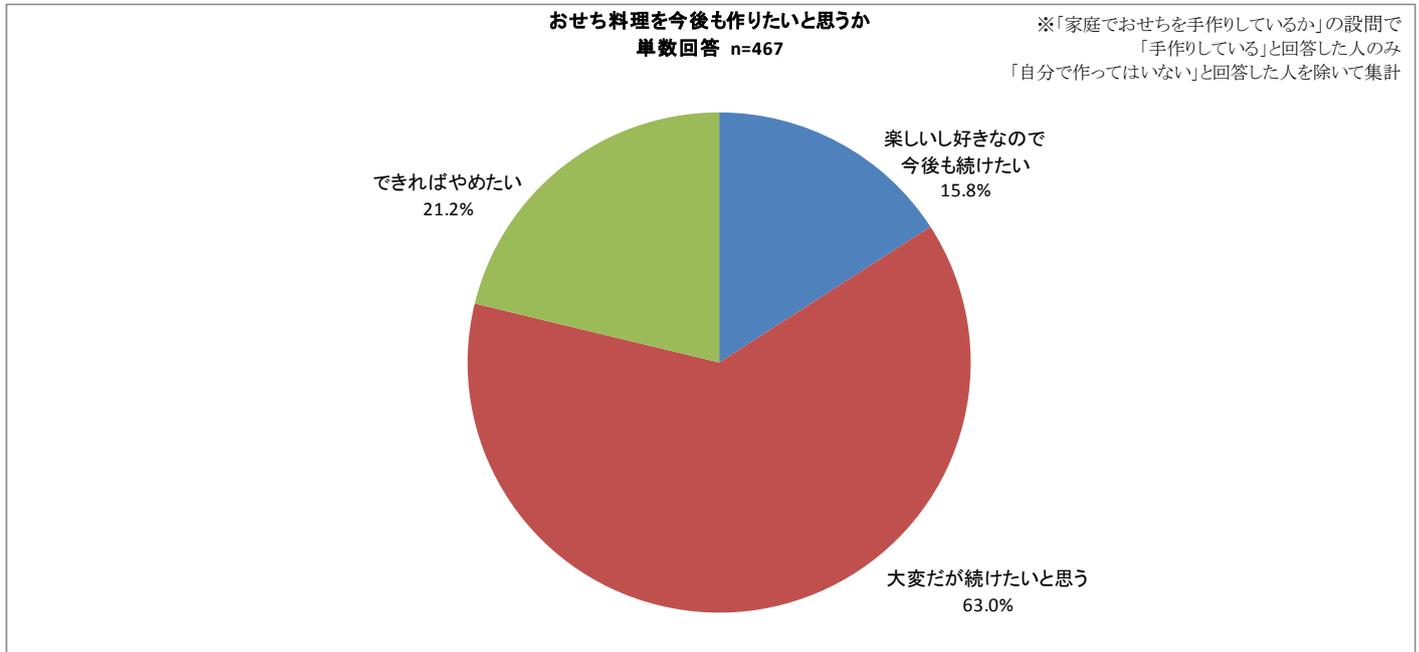
おせち料理は「手作り&購入」派が約6割で、2年前と同程度

おせち料理を手作りしているかについては、「全て手作りしている」が6.2%、「ほとんど手作りして、一部購入している」26.5%、「ほとんど購入して、一部手作りしている」29.7%で、「手作り&購入」派が約6割を占めました。この結果は2年前に実施した調査結果と大きな変化はなく、無理のない範囲で手作りをし、受け継がれるわが家の味を楽しんでいるご家庭が依然として多いことが分かります。



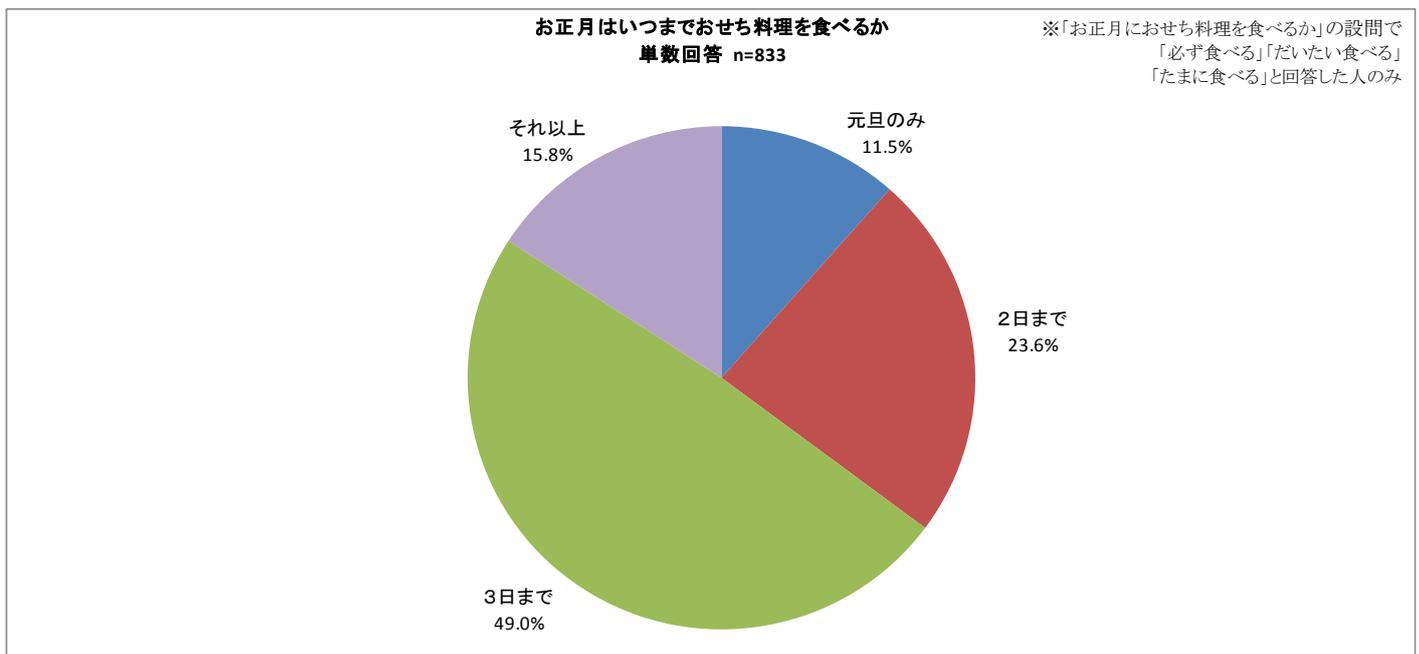
手作りしている人の約 8 割が、おせち料理を作り続けたい

おせち料理を自分で作っている人に今後も作り続けたいと思うかと聞いてみたところ、「楽しいし好きなので今後も続けたい」が 15.8%、「大変だが続けたいと思う」63.0%で、合わせて 78.8%が、作り続けたいと回答しました。



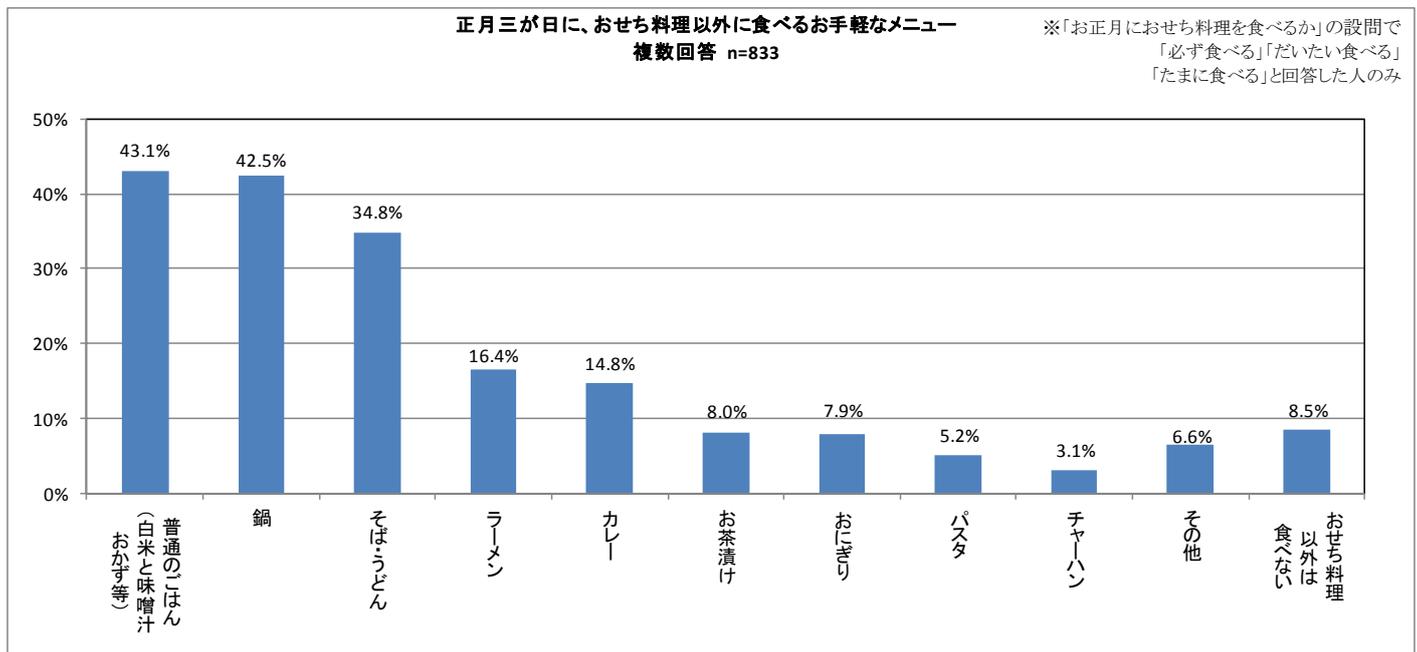
おせち料理は正月 3 日まで食べる人が半数

おせち料理をいつまで食べるかと聞いたところ、「元旦のみ」と回答した人が 11.5%、「2 日まで」23.6%でした。最も多いのは「3 日まで」49.0%と半数程度を占め、三が日はおせち料理を食べている結果となりました。



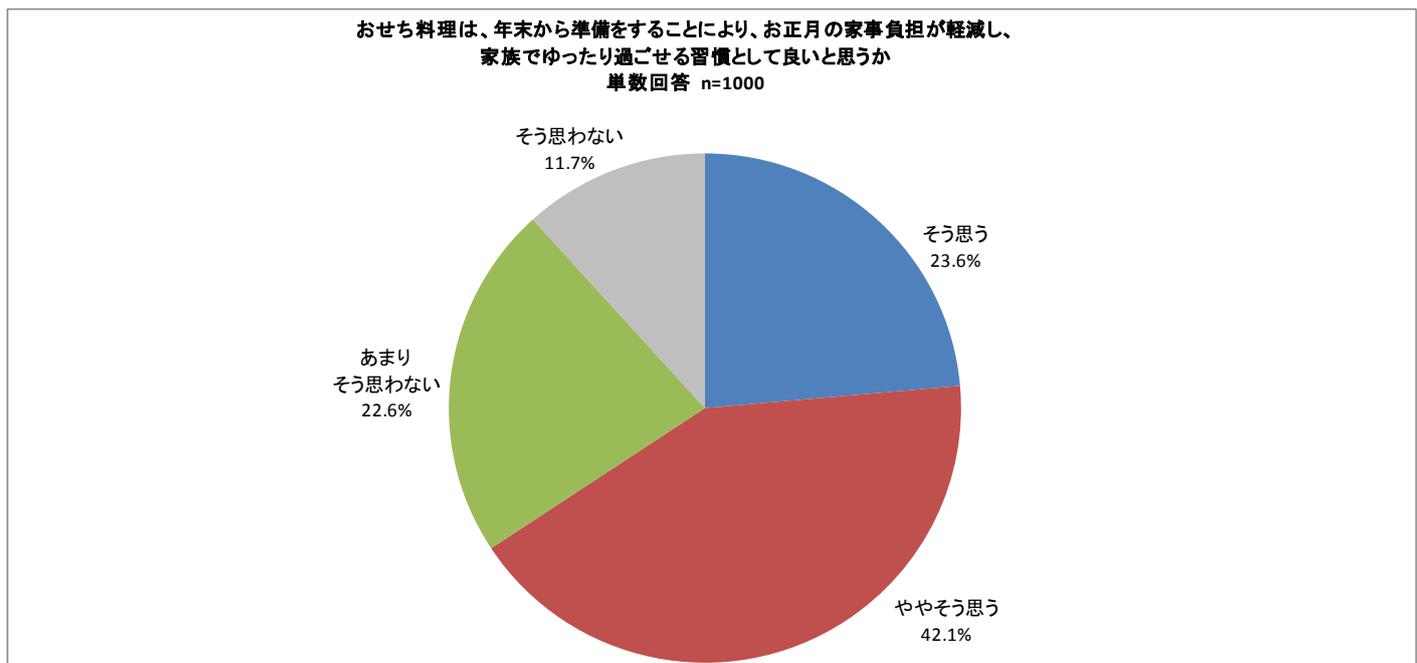
おせち料理以外に食べるお手軽メニューは「普通のごはん」「鍋」

正月三が日におせち料理以外に食べるお手軽なメニューとしては「普通のごはん（白米と味噌汁、おかず等）」「鍋」がそれぞれ4割強となりました。



おせち料理は「家事負担を軽減し、家族でゆったり過ごせる習慣」として、約7割が評価

おせち料理はお正月の家事負担を軽減し、家族でゆったり過ごせる習慣として良いと思うか、と聞いてみると、「そう思う」23.6%、「ややそう思う」42.1%で、合わせて約7割が評価していました。



■お願い■

※原稿などにご活用いただく際には、「JA全中調べ」と付記していただきますようお願いいたします。